



参加者総数：350名
ご寄付総額：377,772円

350名もの当事者、支援者が集まりました

10時～ 受付開始

2012年11月18日（日）代々木公園内の六角休憩舎に、朝早くから続々とダウン症がある方々やそのご家族や支援者が集まりました。その数は約350名。都内近郊だけでなく、中にはこの日のために新幹線で遠路はるばる駆けつけて下さった方もおりました。

受付では希望者へのオレンジ色のバディウォークTシャツと、参加者の皆様が交流しやすいようにお名前やお住まい書いて洋服に貼って頂くための名札シールを配布しました。小さなお子さんへは迷子対策のため緊急連絡先もご記載頂きました。



大勢の子供達も参加

今回参加されたダウンあるお子様は約80名、平均年齢は約4歳でした。元気一杯の子供達はウォーク開始までの間、澄み切った青空の下、公園に敷かれた大きなブルーシートに用意されたおもちゃやボールプールで楽しそうに遊んでいました。

代表よりごあいさつ

バディウォークは1995年、全米ダウン症協会によりダウン症への意識を高めるためアメリカ・ニューヨークで始まりました。

私達はバディウォークを日本で企画し、日本でもダウン症がひとくりにされることなくそれぞれが个性的であること、その個性を發揮でき大きな可能性を持っていることを社会に知ってもらい、障害のある人もない人もあたりまえに暮らせる社会になることをめざしています。

バディウォークが来年も再来年もつづきダウン症の有無を問わず共に過ごせる楽しいイベントになるようにしていきたいと思います。

アクセプションズ 代表
古市 理代



しゃぼん玉

に包まれた代々木公園



受付開始からしばらくして、しゃぼん玉おじさんが登場。大小様々な大きさのしゃぼん玉が、代々木公園の心地良い風に乗って参加者を包み込みました。子供達は大はしゃぎでしゃぼん玉が宙を舞うたびに会場に大きな歓声が沸き、会場の盛り上がりは一気に最高潮に達しました。しゃぼん玉おじさんは普段も休日にあちこちの公園やイベント会場で素敵なしゃぼん玉を飛ばしているそうです。



どうぶつ着ぐるみ隊も集合

この日は、沢山のどうぶつ着ぐるみ達も駆けつけました。子供達はみんな着ぐるみが大好き。みんな次々と着ぐるみに抱きついていました。普段動物が苦手なお子さんも居ましたが着ぐるみには興味津々でした。

協賛企業・団体によるご支援

今回のイベントには沢山の協賛企業・団体様のご支援を頂いております。

写真はグランパパ様からご提供頂きましたおもちゃ（上）や、コストコホールセールジャパン様からご提供頂きました飲み物、スナック（下）です。



ウォークの前に

11時～ 開会式

理事長のごあいさつ

アクセプションズ古市理事長が登場。いよいよイベントがスタートです。理事長よりバディウォークの説明や、今回のイベントを開催した経緯についてお話がありました。都内のダウン症の親の会の父親の一人がアメリカ人女性から勧められたことがきっかけで、賛同した父親達が、親の会の垣根を超えて集まって今回のイベントが実現しました。

「ダウン症のこと、その家族のことを社会に知ってもらい、日本をもっと住み良い社会にするためには、バディウォークが一般的になって、今後何年も継続させる事が必要です。近い将来、日本各地で開催されるものにしていきたい」古市理事長から力強いメッセージが伝えられました。

その後、古市理事長から参加頂いた子供達へのインタビュー。子供の可愛らしい答えに会場は参加者の温かい笑いに包まれました。



表彰式 ～感謝を込めて～

理事長挨拶のあとは表彰式。メンバーの一人がアメリカのバディウォークに参加したときに実際に賞を貰った事からぜひ今回の企画に入れたいということで実現しました。今回は「一番遠くから参加賞」「Web登録一番賞」そして、写真をHPへ事前投稿してくださった方への「フォトスマイル賞」です。

お名前を呼び上げ、表彰状、協賛企業様からご提供頂きましたおもちゃ、バディウォーク特別バッチなどの記念品を贈呈しました。ご協力ありがとうございました。

世界に発信された曲「ギフト」

司会からシンガーソングライターMIMOさんの紹介がありました。MIMOさんはダウン症があるご自身のお子様を題材にした「ギフト」という曲を発表され、その曲は3/21世界ダウン症の日の日本代表テーマソングに選ばれました。会場に「ギフト」の曲が流れ、参加者は皆真剣に聞き入っていました。

この曲は世界各国のさまざまな言葉に翻訳されており、その各バージョンがYouTubeで聞けるようになっています。



これが 最初の一步

11時20分～ ウォークスタート

司会のかけ声とともにウォークがスタート。先頭の横断幕を掲げるメンバーはダウン症をもつ子供達です。スタート地点の六角の休憩舎を出て中央広場の周りの約1キロのコースをゆっくりと歩き始めました。

風も止み、朝は少し気温が低かった代々木公園も徐々に気温が上がり、ウォーキングにちょうど良い気候になってきました。



最初は少し緊張気味？

先頭集団は沢山のカメラに囲まれ大興奮。みんなで歌を歌いながら徐々にスピードがあがり、気がついたらかなりハイペースで進んでいたようで、途中後続集団が見えなくなったことに気が付き、コース中盤でしばらく待ってあげていたようです。

今回の参加者にはまだまだ小さいお子さんも多く、ベビーカーに乗って旗を降っていたり、ご両親の手を取りご家族が一緒になってゆっくりと歩く姿も見られました。様々な年齢の参加者は思い思いにゴールを目指して歩きます。

ボランティアの方々の応援

今回のバディウォークは、沢山のボランティアの方々の協力で成り立っています。受付、事前の設営協力に加えて、ウォーク中には手旗を手に沿道から力いっぱい応援したり、子ども達の手を取り一緒になってウォークに参加したりとイベントを大いに盛り上げてくれました。



「歩」という字に込められた想い

ダウン症のある書家・金澤翔子様がこのイベントのために「歩」の書を提供してくださいました。

力強くかつ繊細さを感じさせるこの作品は、バディウォークの先頭に掲げる横断幕に使わせていただきました。



歩き 終わって

12時00分～ 閉会式

集合場所の六角の休憩舎に再度集まり、閉会式です。まずはウォーク前に予告していたお楽しみ抽選会。受付時にお配りした手旗にシールが張っている方が当選となり、協賛企業様であるグランパ様からご提供頂きましたおもちゃがプレゼントされます。

その後、このイベント前日から公開された映画「サンキュー窃盗団」について、監督・脚本を担当された押田興将さんから映画の内容の紹介がありました。この映画はダウン症のある俳優、押田清隆さんが出演されており、ダウン症や発達障害の方に焦点を当てたところ温まる作品です。押田清隆さんは、ウォーク中も横断幕を持って歩いて頂きました。

最後にアクセプションズの副理事である黒木から「このイベントを次の世代にも受け継いでもらい何十年と続いていくようなイベントにしたい」というメッセージを伝え、参加者の大きな拍手で第1回のバディウォークは終了しました。



ご参加頂いた皆様ありがとうございました。

[第1回バディウォーク]

主催：NPO法人アクセプションズ

協力：全米ダウン症協会

後援：東京都、財団法人日本ダウン症協会、
社会福祉法人東京都社会福祉協議会、
東京都知的障害者育成会手をつなぐ親の会、
共同通信社

書提供：金澤翔子

着ぐるみ協力：きぐるみワールドプロジェクト

しゃぼん玉：しゃぼん玉・栗坂

テーマ曲：MIMO

ウォーク応援：聖路加看護大学、早稲田ひまわり子ども会

協賛企業・団体（50音順・敬称略）

HILTI代理店：株式会社オオタケ

花王株式会社

花王ハートポケット倶楽部

グラムコ株式会社

株式会社グランパ

コストコホールセールジャパン株式会社

こどもメガメ アンファン（オグラ眼鏡店）

東京都北区・田端銀座商店街振興組合

株式会社トゥモロー

株式会社パソナグループ

[ご支援のお願い]

アクセプションズでは皆様からの寄付及び賛助会員を募集しております。

お申込み・お問い合わせはURLもしくは、Emailよりご連絡下さい。

URL:<http://acceptions.org> Mail:info@acceptions.org



@npoacp



facebook.com/npoacp